

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月20日		記入者		内線	2734
部 名	経済部	課 名	農政課	課長名	阿部健	
事務事業名	望地地区地域用水環境整備事業					
予算上の事務事業名	望地地区用水路改修工事					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	31530		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政 策 名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします					
基本施策名	第5節 都市農業の振興				事業開始年度	
施 策 名	第3施策 農地の保全と農業基盤の整備				平成15年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市農業農村環境整備計画、地域用水環境整備事業実施要綱					
3 個別計画の概要			概要			
計画名	望地地区用水路改修工事		事業費 256,000,000円 整備延長 : L = 1,290m (護岸工、園路広場工、休憩施設工)			
計画年次	15	年度～	19	年度		
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
農業用水は水質浄化、景観・生態系の保全、親水など地域用水として多面的な機能を有しているため、これらの機能の維持増進に資する施設の整備を行う。整備に際しては「相模原市農業農村環境整備計画」に基づき、生物の生息空間の保全等、自然環境との調和を図りながら、水路沿いの散策路の整備を行うことにより農業や生き物との触れ合い空間を創出する。					農業者・市民	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	工事延長 = 274m (水路工 L = 157.3m、園路広場工 L = 257.6m、休憩施設工 ベンチ5基等)					
6 関連・類似事業や他市の状況	特になし					
7 事業費の推移						[単位：千円]
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	0	36,357	52,005	42,010	67,000	
一般財源	0	11,682	16,755	13,810	20,100	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	24,675	35,250	28,200	46,900	
人件費の合計	0	2,670	2,690	2,690	2,690	
事業コスト合計(a)	0	39,027	54,695	44,700	69,690	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	望地地区用水路改修工事			対象名称 (単位)	受益面積 (ha)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	0	39,027	54,695	44,700	69,690	
対象数	0	42	42	42	42	
単位あたり経費(円)		927,007	1,299,169	1,061,758	1,655,344	
前年度比			1.40	0.82	1.56	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	整備済み工事延長 (m)	指標式と指標の説明		整備済み工事延長 / 当該年度工事予定延長	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	62.0	274.0		
目標	0.0	70.0	320.0	320.0	290.0
目標達成度		0.89	0.86		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	整備済み散策路延長 (m)	指標式と指標の説明		(整備済み散策路延長 (m) / 当該年度整備予定散策路長) × 100 (%)	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	62.0	274.0		
目標	0.0	70.0	320.0	320.0	290.0
目標達成度		88.6	85.6		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		H19までの計画に基づいた整備を推進する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
用水組合や環境保護団体との連携により工事方法の改善や工事コストの縮減に努めるとともに、施設の長寿命化及び維持管理費の低減を図りトータルコストの縮減を目指す。			工事施工に際し、現環境への負荷をなるべく少なくする工法等の研究及び整備後の維持管理体制の確立や、親水施設の安全対策。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			